



写真：医事課 加藤 康昭

人まかせ そんな気持ちで 事故のもと

**お正月**

もういくつねると お正月  
 お正月には 凧あげて  
 こまをまわして 遊ばしう  
 はやく来いこい お正月  
 もういくつねると お正月  
 お正月には まりついて  
 おいばねついて 遊ばしう  
 はやく来い濃いお正月

医療法人 鷺西厚生会  
**理 念**

私たちは、地域住民の皆様に、安全で質の高い医療・福祉を効率的かつ継続的に提供する

**基本方針**

私たちは、地域中核病院を有する法人として、医療環境の変化に対応した質の高い保健・医療・福祉サービスを通じて地域社会と共に発展をめざします

私たちは、患者様や利用者の方の権利を尊重し、プライバシーを基にした医療サービスを提供し、根拠に基づいた提供で満足できるように努めます

私たちは、経営の安全と組織の活性化を図ることを旨とし、職員の仕事が安定し、生活が向上するように努めます

目 次

- 2008年 年頭にあたって
- 皮膚のお話し  
1月のお知らせ
- 外来基本診療体制

松波総合病院ホームページ

<http://www.matsunami-hsp.or.jp/>

# あけましておめでとうございます

～2008年 年頭にあたって～



特定医療法人 藤西厚生会  
松波総合病院 理事長  
松波 英寿

新年明けましておめでとうございます。

さて、国民を取り巻く医療環境は益々厳しさを増し、なかなか将来を展望しにくい状況です。しかし、この現状を受け入れないわけにはいきません。紆余曲折があるにせよ、医療・介護に対する公的基金からの支出は今後も削減されることでしょう。一方、新しい抗がん剤をはじめとした高額な医療が益々導入され、良い医療を受けたいと思えば、必然的に患者様の自己負担は今後も増えるでしょう。しかし、国民の所得からみた検討からは、2極分化がさらに進むとされています。今後も益々増える高齢者が罹患したにも関わらず、所得により十分な医療が受けられなくなるということも想像されます。こういった状態、時代に当法人が皆様にとの

ように対処していくべきか考えると、それは数年来、当法人の理念である“安全で質の高い医療を効率的かつ継続的に提供する”を行うべく邁進するしかないと思います。そのために4疾病5事業に取り組み、また“安全で質の高い医療を効率的かつ継続的に提供する”をより推し進めるため、1月からは本格的ICU(集中治療室)が稼働します。さらにがん検査・治療のために最新式PETと放射線治療装置を導入し外来化学療法も充実します。これらにより、本年はより強力なラインナップが構築され提供できると思います。

我々はどのように政策が変わり、益々悪い環境になったとしても、過去から培ってきた経験を生かし、地域住民の皆様のために精一杯努力していきたいと思えます。本年もよろしくお願い申し上げます。



特定医療法人 藤西厚生会  
松波総合病院 病院長  
山北 宜由

新年あめてとうございます。

新しく2008年を迎えましたが、3年前の臨床研修医制度の施行に端を発したといわれる地方を中心とした医師不足が、この岐阜地方でも病院における小児科医、産科医不足に拍車をかけ、更には若手医師の大都市部への偏在などから、夜間、休日の救急医療が困難な状況に陥っている昨今の医療状況は、地域の住民の皆さんにも大きな影響が出てきています。このような状況において、私たち松波総合病院は、急性期疾患の患者さんに最善の医療を提供しようと努力しております。24時間の小児科患者さんの受け入れや産科救急の受け入れも継続して実施しておりますし、今後も継続して実行していく所存です。幸いこの岐阜医療圏(岐阜市を中心とした

周辺市町村を含む人口80万人の地域)は、重症と思われる患者さんは病院で、風邪のように比較的軽症で投薬だけで済むような患者さんは、診察時間内は診療所へ受診することができるよう医療施設数も整っています。地域の病院医師不足が地域医療を崩壊させかねない現在の医療提供状況には、患者さんの急性期病院への受診姿勢も大きく影響しています。医療の人的資源には限界があります。病院、診療所の役割分担を十分認識していただいた上での受診こそ、地域医療を崩壊させないための第一歩だと考えます。特殊な検査や専門医の診療、重症な急性期疾患は病院で診療し、急性期とはいえ風邪ぐらいの患者さんや、慢性期になり比較的落ち着いた症状の患者さんは近所の診療所での診療を受けることを進めない限り、急性期病院の外来診療負担は膨大なものになり、全ての住民の方々が安心して重症疾患の医療を効率よく受けられなくなる状況が出来上がってしまいます。

松波総合病院は糖尿病・高血圧・高脂血症に代表される生活習慣病が主な原因で発生する脳卒中、急性心筋梗塞、狭心症等の急性期医療をはじめとする、全般的な救急医療の他、わが国で最も高い死亡原因になっているがん治療に特に力を入れて診療体制を作ってきています。脳卒中や急性心筋梗塞に対する極めて迅速な24時間対応の診療はもとより、がん治療に関しては、画像診断装置としてPETの導入や放射線治療の再開を2008年には計画しております。益々、急性期医療に特化した診療を展開していく予定です。わが国の医療情勢はこの岐阜地域にもそのまま反映され、個々の病院、診療所がそれぞれの受け持ち分野を明確にし、何を分担するのかを示した上で効率のよい医療を地域の住民の方々に提供しなければなりません。この現状のなかで、松波総合病院はより明確な意志をもって急性期医療への道を歩み始めました。2008年の初頭に当たって、この意志と共に地域の連携医の先生方との協力のもと、全力で地域医療に力を尽くす所存です。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

# 皮膚のお話し

皮膚科医長 林 美穂

12月から松波総合病院に赴任しました 林 美穂と言います。



皮膚についてのお話しをします。皮膚は髪の毛から爪先まで、人の体の表面全体を覆い、外の世界から体を守る役割をしています。皮膚に異常があると異物やばい菌が進入して、アレルギー反応がおきたり、感染症を引き起こします。皮膚は絶えず外の世界と戦っているのです。

医師に  
ご相談  
ください

常に人の目にさらされ、その変化は自分で見たり触ったりすることで簡単に感じる事ができるため、人にとって皮膚は大変身近で大切な存在です。季節の移り代わりや、年齢の変化を肌の変化を通して感じることも多いと思います。しかし、その身近さから皮膚に異常が現れても病院には受診せず、放置しておいたり、自己流で治療されている方も多いのではないのでしょうか。適切な治療がされず、慢性化し治りにくくなったり、良いと思って塗っていた薬でかぶれを起こしてしまうこともあります。また、湿疹だと思って塗り薬を続けているのに治らない所が皮膚癌の1種であることもありますから、注意が必要です。水虫や手荒れなど、身近なものからお気軽に御相談ください。

皮膚は内臓の鏡とも言われるように、皮膚の発疹の裏に全身的な病気が隠れていたり、ささいな皮膚の変化が全身性の皮膚病の前触れとしておこることもあります。脱毛や白アザ、爪の変形に自己免疫性の病気が合併していることがありますので、一度血液検査をして調べてみましょう。

当院では男性型脱毛症の飲み薬も取り扱っておりますので、うす毛、抜け毛が気になる男性の方は早めに御相談ください。

12月より皮膚科の診療を担当させていただいております。皮膚を通して、皆様の健やかな毎日のためにお手伝いをさせていただきます。どうぞお気軽に皮膚科へおこしください。

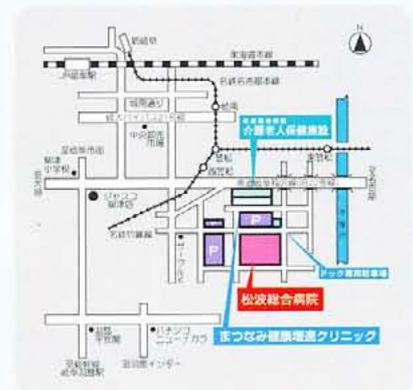


## 1月 お知らせ

■糖尿病教室 ※糖尿病が気になる方はどなたでも気軽にご参加ください。

◎19日(土) 3階講堂にて 午後2時～4時

尚、都合により日時等変更する場合がございますのでご了承ください。



### 交通のご案内

新幹線羽島駅 — 西笠松 — 松波総合病院  
北笠松駅(徒歩10分) 徒歩10分  
タクシー-20分

名鉄岐阜駅 — 西笠松 — 松波総合病院  
名鉄岐阜駅(徒歩10分) 徒歩10分  
タクシー-10分

名鉄名古屋駅 — 笠松 — 松波総合病院  
名鉄名古屋駅(徒歩10分) 徒歩10分